

【伴走型小規模事業者支援推進事業】

呉広域商工会 経営支援事例集①

【企業概要】

事業所名：天仁庵（音戸地区会員）
 代表者名：数田 直彦
 業種：呉服小売業・飲食業カフェ・菓子製造業

【支援の経緯】

同地で130年以上商売を続けているが呉服業は右肩下がり。このままでは事業継続も難しい。「音戸の情緒豊かな町並みを活かした新しいビジネスが出来ないか」と考えた結果、飲食業への業種転換を思いついた。

【支援の成果】

2012年3月に呉服店舗をリニューアルし、カフェ・ギャラリー・ブティック等の業態をプラスした複合型のコンセプトショップ「天仁庵」をオープン。その後、2018年には地元の特産品を活かしたお菓子作りに着手。菓子製造部門の売上がコロナ禍の経営を支えた。事業の「選択と集中」により、経営資源を飲食部門と菓子製造部門に集中させている。



【業種転換（飲食業）に向けた支援】

項目	課題	支援内容	支援結果
運営	運営方法が分からない	・ミラサボ専門家派遣制度の利用	飲食店経営の基本的な知識や店舗オペレーション方法をアドバイス
事業計画	運営方針を策定したい	・事業計画の策定支援 ・単価やマーケティング調査等から売上目標の設定	経営革新計画の認定を受ける
開店資金	開店資金を調達したい	・公的融資制度等の申請支援	開店資金の確保

【菓子製造に向けた支援】

項目	課題	支援内容	支援結果
事業計画	運営方針を策定したい	・事業計画の策定支援 ・クロスSWOT分析等を 経て売上目標等を設定	2度目の経営革新計画の認定を受ける
設備	製造設備を導入したい	・ものづくり補助金の活用	製造設備を導入し菓子製造に着手
商品開発	お土産物を開発したい	・小規模事業者持続化補助金の活用	お土産物を開発

【商工会の担当者の声】



本所の佐々木です。業態転換や新分野進出等には経営革新計画が有効です。計画策定中に気づきや必要な行動計画などともに考えて支援してます。

【企業概要】

事業所名：とみつね
 （豊地区会員）
 代表者名：江口 富枝
 業種：飲食・宿泊業

【支援の経緯】

2020年、開業に伴い呉広域商工会に加入。民泊事業を運営しながら、店舗を改装して喫茶店を開店する予定だったが、コロナ禍が直撃。計画を練り直す必要が生じた。

【支援の成果】

アフターコロナを見据え、当初計画を前倒して喫茶営業を開始するにあたり小規模事業者持続化補助金等の補助制度や支援金を積極的に活用した。2022年5月に喫茶営業を開始しており、来店者からは好評である。



【喫茶営業に向けた支援】

項目	課題	支援内容	支援結果
広報	開業間もない為知名度が低い	・プレスリリースの作成支援 ・「せとうちskip」への掲載	「せとうちskip」を通じてTV取材を受けた事で問い合わせ件数が増加
資金繰り	コロナ禍で宿泊客が減少	・コロナ給付金の活用 （一時支援金、月次支援金）	継続的な支援金の申請により資金面に余裕ができた
開店資金	店舗開店資金を調達したい	・小規模事業者持続化補助金の活用	2022年4月 創業枠で採択を受ける
メニュー開発	新メニューを提供したい	・商工会会員事業者の紹介	地域産品を活かした新メニューを開発

【商工会の担当者の声】



豊・豊浜支所の大石です。創業の相談やプレスリリースの提案などメディアを活用した集客の促進を支援しています。

【企業概要】

事業所名：ユキノ
 （川尻地区会員）
 代表者名：石原 和子
 業種：美容業

【支援の経緯】

コロナ禍で来店者数が減少するも、Gotoトラベル等外出機会が増える事で脱毛や美容全体の需要は増加する事が見込まれる。アフターコロナを念頭に新サービスの提供や施術環境整備を行いたい。

【支援の成果】

小規模事業者持続化補助金の活用により、下記の新サービスの提供と施術環境の整備、広報ツールの作成を一挙に行う事ができた。全国的にコロナ禍の脅威は続いているが、着実に来店者数を増やしている。



【アフターコロナに向けた支援】

項目	課題	支援内容	支援結果
設備導入	新サービスを行う設備を導入したい	・小規模事業者持続化補助金の活用	新たにフェイシャルマッサージサービスを提供 既存サービスとセットでも提供
施術環境	施術環境を整備したい		施術用ベッドと空調を導入して施術者とお客様の負担を軽減
広報	広報ツールを作成したい		パンフレットを作成し来店者等へ配布 SNSも併せて周知を行った事で来店者数が増加

【商工会の担当者の声】



川尻支所の銭亀です。事業計画の策定や補助金の活用及び円滑な実施を支援しました。